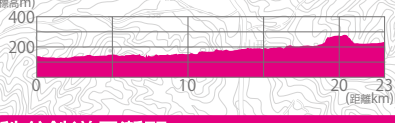


23km コース **長瀬・皆野秩父路まるごと体感コース**



- START 秩父鉄道長瀬駅**
- 秩父鉄道長瀬駅→水管橋→長瀬自然のみち(対岸道路)→親鼻橋→栗谷瀬橋下遊歩道→国神信号→皆野橋信号→皆野橋→田福寺→新井武平商店→木毛信号→やまねブドウ園→内田家住宅→美の山信号→八坂神社→高篠小学校→高篠中学校下→山田橋→札所3番常泉寺→3番峠→聖地公園→秩父警察署→秩父鉄道秩父駅→番場通り→秩父公園
- GOAL 秩父公園**



●**栗谷瀬橋の蛇紋岩** クリソタイル(石棉(アスベスト)の原料)という繊維状の鉱物が含まれる深い緑色の「蛇紋岩」の露出が見られる。柔らかく地すべりを起こしやすい。



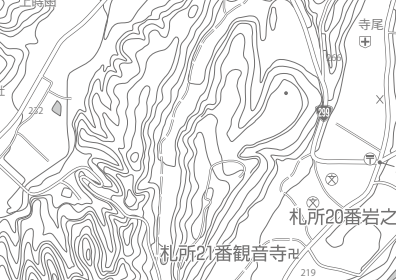
●**前原の不整合** 崖の左下の黒い岩石が秩父帯の粘板岩など(1億5千万年前の地層)で、その上部の白っぽい秩父盆地を構成する約1千7百万年前の地層との不整合が見られる。



●**大塚古墳** 盆地内最大級の七世紀後半の円墳。内壁には板状に割れる結晶片岩が使われている。近くに中世の小池氏館跡がある。



●**大塚古墳** 盆地内最大級の七世紀後半の円墳。内壁には板状に割れる結晶片岩が使われている。近くに中世の小池氏館跡がある。



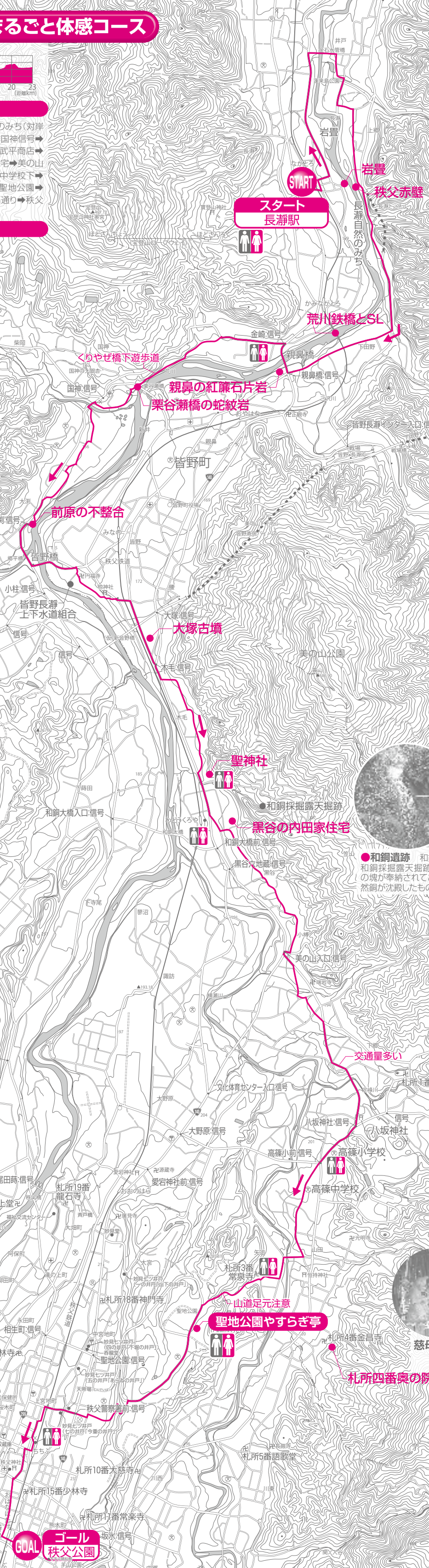
●**札所四番奥の院・不整合** 盆地内の地層と東の変成岩(蛇紋岩)の境が見られる。盆地西方から巡礼者に運ばれ「功德石」と呼ばれた「岩殿沢石」で作られた石仏が境内に1300余体。



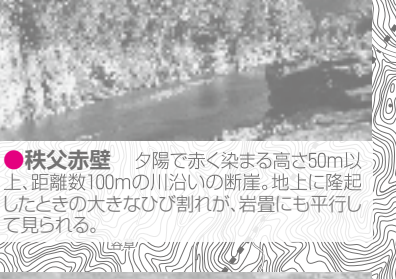
●**札所四番奥の院・不整合** 盆地内の地層と東の変成岩(蛇紋岩)の境が見られる。盆地西方から巡礼者に運ばれ「功德石」と呼ばれた「岩殿沢石」で作られた石仏が境内に1300余体。



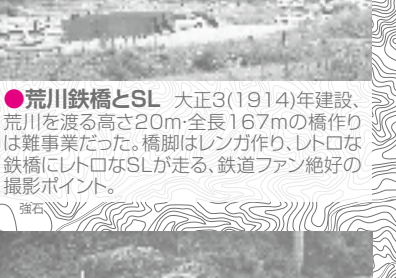
●**札所四番奥の院・不整合** 盆地内の地層と東の変成岩(蛇紋岩)の境が見られる。盆地西方から巡礼者に運ばれ「功德石」と呼ばれた「岩殿沢石」で作られた石仏が境内に1300余体。



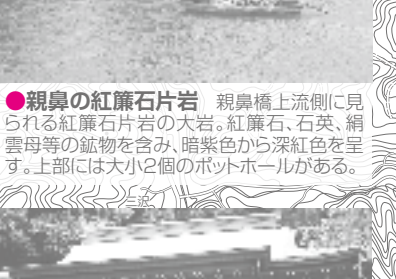
●**岩量** 地下20~30kmの深部で変成された結晶片岩が隆起し、地表で岩量のような広がりを見せている。「地球の窓」とも言われる。



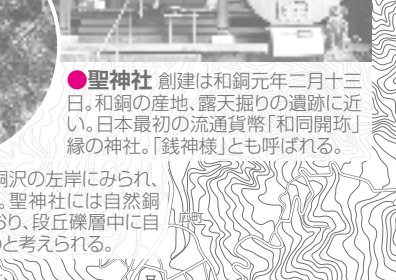
●**秩父赤壁** 夕陽で赤く染まる高さ50m以上、距離数100mの川沿いの断崖。地上に隆起したときの大きなひび割れが、岩量にも平行して見られる。



●**荒川鉄橋とSL** 大正3(1914)年建設、荒川を渡る高さ20m・全長167mの橋作りは難事業だった。橋脚はレンガ作り、レトロな鉄橋にレトロなSLが走る。鉄道ファン絶好の撮影ポイント。



●**親鼻の紅簾石片岩** 親鼻橋上流側に見られる紅簾石片岩の大岩。紅簾石、石英、絹雲母等の鉱物を含み、暗紫色から深紅色を呈す。上部には大小2個のポットホールがある。



●**聖神社** 創建は和銅元年二月十三日。和銅の産地、露天掘りの遺跡に近い。日本最初の流通貨幣「和同開珎」縁の神社。「銭神様」とも呼ばれる。



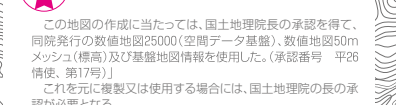
●**黒谷の内田家住宅** 曲がりくねった木を使い優れた工法で作られた江戸時代の名主の家。家の前には、訪問者を尋ねた門も残る。



●**札所四番奥の院・不整合** 盆地内の地層と東の変成岩(蛇紋岩)の境が見られる。盆地西方から巡礼者に運ばれ「功德石」と呼ばれた「岩殿沢石」で作られた石仏が境内に1300余体。



●**札所四番奥の院・不整合** 盆地内の地層と東の変成岩(蛇紋岩)の境が見られる。盆地西方から巡礼者に運ばれ「功德石」と呼ばれた「岩殿沢石」で作られた石仏が境内に1300余体。



●**札所四番奥の院・不整合** 盆地内の地層と東の変成岩(蛇紋岩)の境が見られる。盆地西方から巡礼者に運ばれ「功德石」と呼ばれた「岩殿沢石」で作られた石仏が境内に1300余体。



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(空間データ基盤)、数値地図50mメッシュ(標高)及び基礎地図情報を使用した。(承認番号 平26情使、第17号)  
これを元に複製又は使用する場合には、国土地理院の長の承認が必要となる。